

# 北上川を望む家

■宮城県石巻市 Kさん宅

佐々木文彦

2階の子ども部屋から、薪ストーブのあるリビングを見下ろす



家族みんなで使う2階のホール



ふんだんに使われた木や薪ストーブなど、自然素材に囲まれたLDK。開放的でフレキシブルにつかえる空間構成が特徴的



玄関。必要以上に飾らないシンプルな仕上げが、こもりの



「北上川を望む家」は宮城県石巻市北部の北上川土手沿いに立地する。敷地は国道45号線の幹線からはずれた静かなエリアにあり、家庭菜園用の土地合わせて2区画分の広い面積を有する。前面道路からは土手正面に見える奥に入った位置にある。

施主は、小学校低学年を頭に4人のお子さんに恵まれ、リビングを中心に子どもたちが伸び伸びと遊べるオープンな空間で、薪ストーブが設置された暖かい家を希望しておられた。

コンセプトとして、家全体の仕上げには自然素材を中心とした人に優しい地産地消を目指し、1階は広がり空間として広間中心のパブリックゾーンに、2階はプライベートゾーンとしての主寝室に対して、子ども室はリビング上部の吹き抜けと一体化したオープンなレイアウトとした。これは、奥さんの一番の希望である「キッチンに立って1階の子どもたちの様子が把握出来るように」とあわせて、吹き抜けを通して2階の子どもたちの気配もわかるように意図した。

玄関は風除室を兼ね、土間のまま食品庫のあるユーティリティを通してキッチンにアプローチできるようにし、LDKの広間を経由して、水まわりや2階に行ける動線となっている。

広間に連続した客間専用の和室は、広間を経由しなくても水まわりに行けるように動線を確保しており、将来的には親との同居も可能な設計となっている。キッチンから洗面脱衣や水まわりは北側にまとめたレイアウトにし、食品庫から勝手へのルートとあわせて主婦動線が最短になるよう計画した。

この家の使用木材は土台まわり以外はすべて地域のスギ材で、メインの構造材は奥さんのお実家の山林の杉の木を、一部化粧で現しの柱・梁や吹き抜けの大黒柱として使うことが出来た。

建設に当たっては長期優良住宅(200年住宅)補助事業に採択され、ハイスペックな設計仕様が要求され、施工担当の工務店に苦勞をかけたが、気仙大工の技を随所にみせられる木組みの家として完成することができた。

今では、ご主人の趣味となりつつある薪ストーブの薪割りの成果として、隣接する多目的の物置小屋や土手側に設置した大きな薪置場がすでに満杯状態になっている。

(文/佐々木 文彦)

撮影 / アド・フォート 魚住 一夫

PROFILE

ささき ふみこ  
 1956年 宮城県桃生郡北上町生まれ  
 1978年 早稲田大学専門学校建築科卒業  
 (株)郷設計事務所(東京)勤務  
 1979年 (株)マカンボ建築設計事務所(東京)勤務  
 1980年 鷺建築設計事務所(仙台)勤務  
 1983年 ササキ設計室設立  
 1990年 有限会社ササキ設計設立  
 1999年 「杜の家づくりネットワーク」設立、代表  
 日本建築家協会正会員・登録建築家  
 (社)宮城県建築士会  
 日本民家再生協会  
 木の建築家フォーラム正会員  
 現在に至る。

<主な受賞>

- 2001年 山元町中学校提案競技 優秀賞
- 2004年 宮城木造住宅コンクール 優秀賞(菅谷台の家)
- 2005年 宮城木造住宅コンクール 優秀賞(花山の家)
- 2006年 宮城木造住宅コンクール 特別賞(松島の家)  
日本木材青壮団連合会木材活用コンクール 住宅部門賞受賞
- 2008年 宮城木造住宅コンクール 特別賞(くりこまの家)  
日本民家再生協会 奨励賞(石川の家)
- 2010年 日本民家再生協会 奨励賞(富沢の家)



右上:リビングに隣接する和室。来客用として使いやすさを考慮し、水まわりへ直接入れる動線を留意  
 左上:奥さんの基地となるキッチン。玄関横の土間と直結させて、家事効率をアップ

DATA

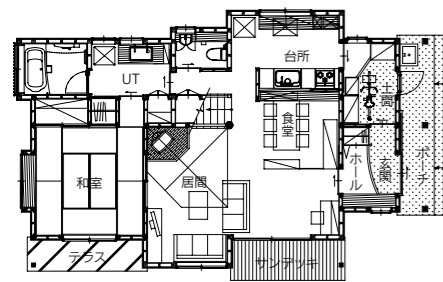
宮城県石巻市・Kさん宅  
 家族構成/夫婦30代、子ども4人  
 設計/(有)ササキ設計 佐々木 文彦  
 ☎0225-61-2215  
<http://www.sasakisekkei.co.jp/>  
 E-mail sasaki@sasakisekkei.co.jp  
 施工/(株)興建ハウジング  
 ☎0229-52-5011  
<http://www.coken.co.jp/>

■建築データ  
 構造規模/木造・2階建て、延床面積/142.92㎡(約42坪)  
 <主な外部仕上げ> 屋根/ガルバリウム鋼板横葺、外壁/窯業系サイディング ジョリパット仕上、建具/玄関ドア:木製サッシ片引きドア、窓:アルミ断熱サッシ(Low-Eガラス)  
 <主な内部仕上げ> 床/スギ板フローリング(本実加工)、壁/??、天井/??  
 <断熱仕様> 床下/ネオマフォーム50mm、壁/グラスウール?? kg100mm、天井・屋根/ネオマフォーム50mm(天井は勾配部分)  
 <暖房方式> 薪ストーブ、温水ルームヒーター

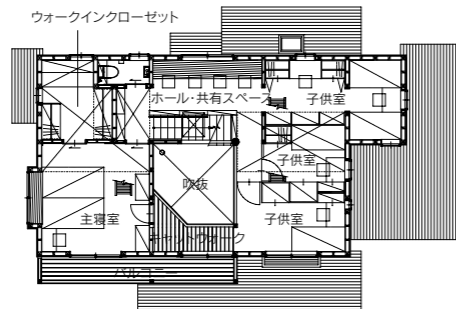
■工事期間/平成22年1月~8月(約7ヵ月)  
 ■工事費用/約2,592万円



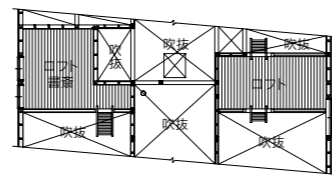
深い軒の出が表情に重厚感と安心感を与える外観



1F



2F



ロフト



2階はぐるりと回れる動線になっている。子ども部屋は吹き抜けに面してオープンな造りにし、家族の気配が常に感じられるよう配慮